



議会の新型コロナウイルス対策報告

議会は、市執行部と新型コロナウイルス対策の情報共有を図るために、「新型コロナウイルス対策議会連絡協議会」を設けています。また、議会BCP(事業継続計画)に基づき、新型コロナウイルス感染症を災害と捉えて、「太宰府市議会災害対策会議」を立ち上げ取り組んでいます。

●新型コロナウイルス対策議会連絡協議会(6月18日開催)でこんな質疑がありました

質問 ビューティフルハーモニープランによる職員採用数の拡大について？

回答 就職氷河期世代の採用は、当初の一般職5名、専門職1名の6名から、新型コロナ対策として採用枠を10名に増やしました。また、会計年度任用職員は、新型コロナ対応で業務が増えた部署へ配置します。

質問 持続化給付金について、筑紫地区での申請サポート体制はどうなっているのか？

回答 国・県の給付金が電子申請に限定されていることから、早い段階から商工会と協力して、オンライン申請のサポート窓口を商工会内に設置しました。6月14日時点で、100件の申請サポートを行いました。

質問 筑紫地区に設置されたPCR検査センターの内容について？

回答 検査方法は、主治医から筑紫医師会への予約制によるドライブスルー方式で、一日に20件の検査が可能です。



質問 同PCR検査で陽性者が出た場合、筑紫地区圏域内でその後のケア対応ができないか？

回答 今回の検査センターの設置は福岡県と県医師会の事業です。その後の対応についても県所管の保健所が対応するものであり、市町村が独自に対応するものではないと考えます。

質問 小・中学校における夏場の授業体制と熱中症対策について？

回答 市教委が学校に、夏場の暑い時期の対策を依頼しています。1時間の授業時間を短縮したり、下校時刻を早めたりする学校があります。マスクの着用については、学校活動の状況に応じたマスク着用の指導を各学校で行っています。



●太宰府市議会災害対策会議で各常任委員会の意見を伝えました

新型コロナウイルス対策に関する意見交換を3常任委員会ごとに行い、その内容を市執行部に伝えています。

総務文教常任委員会

①マイナンバーカードを利用した特別定額給付金申請について

マイナンバーカードを利用した給付金のオンライン申請でのトラブルに関して、マイナンバー制度を推し進める国に対し、給付金事業を担う自治体として遺憾の意を伝えるべきではないか。



②小・中学校の児童・生徒に一人1台のコンピューターを配置することについて

国のGIGAスクール構想に基づきICT機器の導入を急ぐ意図は理解するが、しっかり準備をして取り組んでほしい。
※GIGAスクール構想については、42Pの一般質問の回答をあわせてご覧ください。

環境厚生常任委員会

①特別定額給付金(全国民に一律10万円を給付)に関して、

基準日の翌日以降(4月28日以降)に生まれた赤ちゃんが給付の対象にならないことについて自治体独自の給付金を支給する取り組みが他自治体に広がる中、本市でも同様の取り組みができないか。



②新型コロナ感染症の第2波への備えについて

第2波に備えた体制の構築を、筑紫医師会を中心に筑紫地区5市で図りたい。



建設経済常任委員会

①事業者に対する補助金制度について

個人事業者のなかには補助メニューを知らない方も多いため、周知のあり方を検討してほしい。

②観光推進について

本市の観光振興を国・県に働きかけるとともに、福岡市とも連携して取り組むべきではないか。

